

開設科目名	科目：住生活学Ⅰ（基礎編）										担当教員：今井範子							
開 講 期	後期			授業方法：講 義				単位数：2単位				週時間：2時間						
対 象 学 生	2回生			科目番号：065010														
授業の概要	日本の住様式の種々相と、その問題点を論述し、住居計画・設計の基盤となる考え方を講義する。 現代日本住居の発展過程において、その基本的な流れである「近代化」と「洋式化」に着目し、現代住居における日本独自の住様式の成り立ちと、今後の発展方向を論じるとともに、住様式からみた住居デザインの要点を講ずる。																	
学 習 ・ 教 育 目 標	①住宅建築の計画・設計の基盤になる考え方とその主要なポイントについて、文化（生活様式）、社会、歴史（近代～現代）の文脈の中で理解する。 ②住生活と住空間の対応関係について、その基本的構造を理解する。 ③生活者の視点を重視した、住居計画・設計に対する見方とその素養を身につける。																	
	対 応 表	A			B		C				D			E		F		
		A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	C-1	C-2	C-3	C-4	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	F-1	F-2	F-3
							◎	○										
キーワード																		
授 業 計 画	第1回 現代日本住居の住様式近代化の系譜（1） 第二次大戦後における住生活の近代化－戦後における住居計画の理念－ 第2回 現代日本住居の住様式近代化の系譜（2） 第二次大戦後における住生活の近代化－食寝分離型（nDK型）住宅の歴史的意味－ 第3回 現代日本住居の住様式近代化の系譜（3） 第二次大戦後における住生活の近代化－公私分離－ 第4回 現代日本住居の住様式近代化の系譜（4） 第二次大戦後における住生活の近代化 －公私室型（nLDK型）住宅の歴史的意味と現代における諸課題－ 第5回 現代における住様式と新しい住空間（1）－脱nLDKの住居設計－ 第6回 現代における住様式と新しい住空間（2）－まとめ 第7回 現代日本住居における住様式の日本的特徴－伝統の継承（1） －履床様式（1）上下足分離と住空間－ 第8回 現代日本住居における住様式の日本的特徴－伝統の継承（2） －履床様式（2）上足慣習 第9回 現代日本住居における住様式の日本的特徴－伝統の継承と持続（1） －起居様式の洋式化と住宅平面の洋室化の系譜1－ 第10回 現代日本住居における住様式の日本的特徴－伝統の継承と持続（2） －起居様式の洋式化と住宅平面の洋室化の系譜2－ 第11回 現代日本住居における住様式の日本的特徴－伝統の継承と持続（3） －起居様式・床面様式の発展方向と住居デザイナー－ 第12回 畳空間に関わる住様式と畳空間の現代的デザイン 第13回 寝床様式と就寝慣習－その日本の特性と主寝室計画のあり方－ 第14回 入浴様式と入浴意識－その日本の特性と浴室関連空間計画のあり方－ 第15回 小論文試験																	

教科書	毎回の授業内容に必要なプリントを随時配布する。							
参考書	①住環境の計画編集委員会編：『住環境の計画1・住まいを考える』彰国社 ②日本家政学会編：『家政学シリーズ18・住まいと住み方』朝倉書店 ③その他、随時提示する							
成績 評価方法	試験（小論文課題による）と平常時の状況を加えて総合的に成績評価を行う。							
評価割合	定期試験 （中間・ 期末試験）	小テスト・ 授業内 レポート	宿題・授業 外レポート	授業態度・ 授業への 参加度	受講者の 発表 （プレゼン）	出席		合計
	80%	%	%	20%	%	%	%	100%
備考	A～Fは住環境学科（専攻）の学習・教育目標である。具体的内容について住環境学科のホームページを参照のこと。 研究室：E508号室、オフィスアワー火曜日14時30分～16時20分 imai@cc.nara-wu.ac.jp							